

平成 20 年度当初予算 施策別概要

3 2 4 食の安全とくらしの衛生の確保

(主担当部：健康福祉部)

- 32401 食の安全・安心の確保 (健康福祉部)
- 32402 生活衛生営業の衛生水準の確保 (健康福祉部)
- 32403 医薬品等の安全確保 (健康福祉部)
- 32404 薬物乱用防止対策の充実 (健康福祉部)
- 32405 人と動物との共生環境づくりの推進 (健康福祉部)
- 32406 食の安全とくらしの衛生の確保のための調査研究・試験検査の推進
(政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 安全・安心な食生活や衛生的な生活を営んでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
食品の検査件数に対する不適合食品の割合	目標値	-	5.4%	5.3%	5.1%
	実績値	5.6%			

「食品衛生法」に規定されている食品、添加物等の規格基準および県の食品指導基準不適合率

施策目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
食品の製造・加工の工程検査 (A T P 等) の実施件数	目標値	-	1,100 件	1,100 件	1,100 件
	実績値	1,062 件			

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 食品衛生行政は、B S E 問題などを契機に、国民の健康保護を目的とした消費者重視の「食品安全行政」への転換が進んでいます。県ではこれまで、2003 年 (平成 15 年) に策定した「食の安全・安心確保基本方針」に基づき、生産から消費にいたる一貫した監視指導、検査体制の強化、事業者・消費者への情報提供など、総合的な食の安全確保に取り組んできました。しかしながら、一連の食品表示等の違反事例に的確に対応できなかった反省をもとに、監視指導の徹底や事業者の法令遵守の普及・指導が必要です。
- ・ 医薬品等の安全確保については、製造及び品質管理に関する基準 (G M P) などに基づく査察を製造施設に対して行っていますが、販売や使用後の副作用対策まですべての過程での適正な安全対策が必要です。また、違法ドラッグなどの無承認・無許可医薬品に対する不安が増大していることから、監視体制の強化や県民への正確な情報提供を行う必要があります。

< 平成 20 年度の実施方向 >

食品の製造、加工施設に対し、H A C C P の考え方に基づいた自主衛生管理システムの導入を促進します。また、安全な食肉を供給するため、B S E 検査を含めたと畜検査の実施と、生産から流通にいたる一貫した衛生的な取扱を指導します。さらに、適正な表示を徹底するた

め、職員研修および事業者に対するセミナー等を実施するとともに、特に、事業者の法令遵守について普及・指導を行います。

薬局などに対する調剤過誤防止研修、医薬品製造販売業者などに対する監視指導を厳正に行います。また違法ドラッグ対策、医薬品等の正しい知識の普及啓発に取り組みます。

民間団体等との協働により不正大麻やけしの抜去を行うとともに、青少年を薬物汚染から守るため、民間団体や関係機関と連携して薬物乱用を許さない社会環境づくりに取り組みます。

平成20年4月に施行する「三重県動物愛護管理推進計画」に基づき、団体、市町等の協働のもと動物愛護思想及び動物の適正飼養の普及啓発に取り組みます。

食品や農産物、医薬品等の安全確保に向けた研究を引き続き行うとともに、保健環境研究部が健康福祉部の所管となることから、研究と検査が一体となったより効率的な運営に努めます。

< 主な事業 >

(新)食の信頼確保監視指導事業【基本事業：32401 食の安全・安心の確保】

当初予算額： 千円 16,219千円

事業概要：法令順守と消費者の視点に立った監視・指導を実施するとともに、事業者の自主的な取組みの促進を行うことで、食の安全・安心の信頼確保を図ります。

(新)食の安全安心緊急対策事業【基本事業：32401 食の安全・安心の確保】

当初予算額： 千円 1,000千円

事業概要：事業者、消費者の双方にわかりやすい食品表示の基準として「三重県食の安全・安心信頼表示ガイドライン」の普及啓発を行います。

無承認医薬品・指定薬物対策事業【基本事業：32403 医薬品等の安全確保】

当初予算額： 4,393千円 3,168千円

事業概要：ダイエット・強壮効果等を標榜する無承認医薬品および精神毒性の高い違法ドラッグを対象に、インターネットの監視や青少年への啓発活動に取り組みます。

薬物「ダメゼッタイ。」みえ県民運動推進事業【基本事業：32404 薬物乱用防止対策の充実】

当初予算額： 4,517千円 4,904千円

事業概要：青少年を薬物汚染から守るため、民間団体や関係機関と連携したキャンペーン活動、薬物乱用防止教室の実施など、啓発活動に取り組みます。

動物愛護管理推進事業【基本事業：32405 人と動物との共生環境づくりの推進】

当初予算額： 3,343千円 3,512千円

事業概要：動物愛護精神の高揚に努め、動物の適正管理を推進するため、各種動物関係団体や市町と連携した普及啓発を行います。併せて小中学生からの動物愛護の絵・ポスターの募集やホームページ、ラジオ等による広報についても引き続き行います。

地域性を考慮した農産物中残留農薬一斉分析法に関する研究費

【基本事業：32406 食の安全とくらしの衛生の確保のための調査研究・試験検査の推進】

当初予算額： 2,000千円 1,290千円

事業概要：県内産農産物を中心として残留農薬検査を迅速かつ正確に行えるよう、一斉分析法の研究を行います。